福井県鯖江市への学生派遣プログラム2015

テーマ　「移住・定住施策について
（若者が住みたくなる・住み続けたくなるまちづくり）」

鯖江市での現地調査（８月２４日～２７日）

プログラム１日目（市長面談，意見交換会）（８月２４日）

アニメソングで人形浄瑠璃
ユニーク文楽披露

9/19 県民

吹奏楽のリズムに乗せて演じる人形浄瑠璃が十七日、鯖江市東鯖江二丁目の市文化センターであった。同市中央中学校吹奏楽部が演奏するアニメソングに合わせて文楽人形が舞うユニークな演目を、同校生徒や保護者らが楽しんだ。

鯖江市は、「待機児童ゼロ」が少期を過ごしたとされる江戸時代の文楽作家、門左衛門の魅力を若づくりをしていこうと、楽部の活動も盛んな組み合わせに、親しんでもらおうと狙い。市と連携協定を結ぶ明治大の学生が、市の活性化策を考える事業で昨年度提案したアイデアを採用した。

立待地区住民を中心にした鯖江人形浄瑠璃「近松座」と中央中吹奏楽部が共演。吹奏楽部員九十人がアニメソング「ようかい体操第一」を演奏し、約一〇の浄瑠璃人形が踊った。人形浄瑠璃に付きものの太夫や三味線、語りは無く、アニメソングに合わせて踊るという不思議な組み合わせに、生徒は笑い声を上げたり「すごいギャップ」と声を漏らしたりしていた。

一年生の藪岡生君は「とても面白かった。浄瑠璃は硬いイメージだったが、親しみが湧いた」と笑顔を見せていた。十月三日には立待公民館で、近松座と立待小学校吹奏楽部が共演する。（松原育江）

提案実現

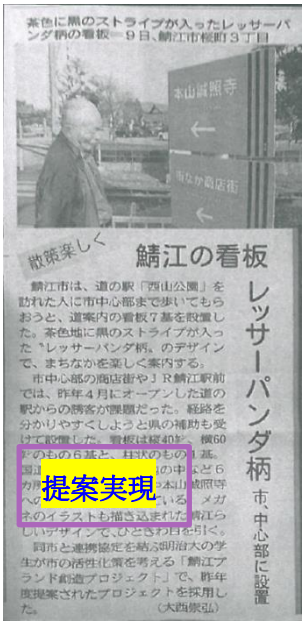
吹奏楽部の演奏に合わせて「ようかい体操第一」を踊る文楽人形＝鯖江市文化センターで

鯖江

鯖江市では，本年も当学生派遣プログラムを「2015 鯖江ブランド創造プロジェクト」と位置付け，「移住・定住施策について（若者が住みたくなる・住み続けたくなるまちづくり）」を共通テーマに，３泊４日の現地調査を行うこととし，これまで事前研修等で学んできた内容をもとに，実際に現地を訪れて感じることや，様々な方へのインタビュー等を盛り込んで報告をいたしました。

現地調査初日，牧野百男鯖江市長への表敬訪問（大学代表：源　由理子地域連携推進センター長）を行いました。牧野市長は，「鯖江市は有効求人倍率も東京に次いで全国２位の土地で，仕事はある。若者の人口も増えているが，より若者が住み続けたくなる地域として発展していくにはどうしたらよいか。仕事とのマッチングを向上させるにはどのような方策が考えられるか。学生の皆さんの自由な発想で，型にはまらないアイディアを出していただきたい。去年までに学生の皆さんから政策提言していただいた案は，次々に実現している。遣り甲斐を存分に感じられると思うので，短い期間ではあるものの，鯖江市の地域の皆さんともたくさん触れ合っていただいて，最終日の提言を楽しみにしている」と歓迎の挨拶を述べられました。市長の言葉のとおり，鯖江市では学生の提案が相次いで実現しています。

引き続き，Ａ～Ｃの３班に分かれ，鯖江市職員の方々との意見交換会が行われました。Ａ班（影山千春・山川修平・岸本明香里・鈴木翔也）「BASABASA」は，鯖江で活動している大学生や，若者，事業者にヒアリングするための事前準備として，鯖江市地方創生戦略室の八田さんに，Ｂ班（丸宗揮・岡野琴音・鈴木優吾・村永佳央理）「さばえっ子」は，鯖江のビッグデータ，ローカル線福武線の活性化等について商工政策課長青山さんに，Ｃ班（内山知之・前田織加・小林翼・郡山琴美）「めがさば」は，全国シェアＮｏ．１を誇る眼鏡について，眼鏡のことならこの人と知られる商工政策課補佐渡辺さんにそれぞれお話しを伺い意見交換し，今後３日間での調査内容について決めました。



茶色に黒のストライプが入ったレッサーパンダ柄の看板＝9日、鯖江市桜町3丁目

鯖江の看板

政策楽しく

レッサーパンダ柄

鯖江市は、道の駅「西山公園」を訪れた人に市中心部まで歩いてもらおうと、道案内の看板7基を設置した。茶色地に黒のストライプが入った"レッサーパンダ柄"のデザインで、まちなかを楽しく案内する。

市中心部の商店街やJR鯖江駅前では、昨年4月にオープンした道の駅からの誘客が課題だった。経路を分かりやすくしようと県の補助も受けて設置した。看板は縦40センチ、横60センチのもの6基と、柱状のもの1基。国道[illegible]の中心など6カ所[illegible]本山誠照寺へ[illegible]いる[illegible]メガネのイラストも描き込まれた。鯖江らしいデザインで、ひときわ目を引く。

同市と連携協定を結ぶ明治大の学生が市の活性化策を考える「鯖江ブランド創造プロジェクト」で、昨年度提案されたプロジェクトを採用した。（大西崇弘）

提案実現

市、中心部に設置

プログラム２日目（現地調査：鯖江市内・河田地区ヒアリング）（８月２５日）

２日目は朝から鯖江市内・河田地区の現地ヒアリングを開始。東陽中学校（協力：田辺先生他），商店街（協力：鯖江地区商店会連合会帰山明朗会長他），鯖江市老人クラブ連合会（協力：　山下忠会長他），OC 課（協力：吉村明美代表他），移住者の方（協力：エコプラザ鯖江勤務楳原さん），Hacoa（協力：市橋社長他）をそれぞれの班が精力的に取材をしました。

今年は事前調査の現地入りがなかった分，課題解決テーマの設定，取材対象について，試行錯誤しながらチームで作業を進めていくこととなり，当日夜の「蔵 Bar」でのアートキャンプで１０年の実績を誇る京都精華大学学生も参加する交

流会でのヒアリング，宿舎に帰ってからのグループワークで悩み考え抜く姿が見られました。　なお，この日は漆器体験（協力：山本家山本先生，塚田家塚田先生，駒本家駒本先生）にて伝統工芸の蒔絵・沈金に挑戦。続いて河田地区でかつては盛んだった養蚕に関係の深い，グリーンツーリズム（桑の葉採取）など，体験行事も目白押しでした。

プログラム３日目（現地調査：鯖江市内・河田地区ヒアリング）（８月２６日）

３日目は午後からの「**熟議**」を控え，朝早くから各班は活動をスタートし，高齢者ケアハウスである東陽会おしどり荘，学生団体 with（協力：花川友輔副代表），農家（協力：小谷ハルミさん），地元スーパーの A コープ東鯖江店（協力：岩崎店長，金子課長他），めがね会館（協力：福井県眼鏡協会宮島専務他），鯖江市役所若手社会人（税務課竹内さん他）を訪問。ヒアリングを重ねました。

そしていよいよ午後からは，うるしの里会館(産業振興交流ホール)にて，地域，職業，立場，年齢，性別を越えたさまざまな人々が，対等な立場で，共通のテーマについて「課題や問題点」を整理し，議論を重ね，「課題や問題点の解決方法や対策」について意見交換しながら「解決策・対応策の提言」をまとめるための協働作業である熟議に臨みました。

開会に際し，大学を代表して須田努リバティアカデミー長から御来場の皆様をはじめとして関係各位へ多大な協力への感謝の意が述べられました。熟議参加者は，地方創生戦略室・市民協働課（協力：斎藤さん・金子さん・今宮さん・八田さん），河和田住民（協力：牧田さん・山口さん・真保さん・山田さん・駒本さん・森下さん），アートキャンプ学生（京都精華大学），移住者（協力：宮下さん・安久津さん），JK 課（高校生）・JK 課 OG（大学生）と本学学生１２名総計３０名で，３班に分かれて活発な意見交換をしました。

プログラム４日目（成果報告会）（８月２７日）

最終日は，午前中から各班の成果報告発表のためのリハーサルを行い，須田努リバティアカデミー長から各班にテーマと発表の焦点の修正，求められている課題に対する発表のかい離など，須田教授から最後のブラッシュアップへの助言があり，各班はパワーポイントでのプレゼンテーションに向けてチームでギリギリまで対話を重ねていよいよ成果報告会を迎えることになりました。

Ａ班の提言テーマは**「挑戦しよう！鯖江で～鯖江キャンパス設立～」**。明治大学や金沢大学をはじめ知的資産を鯖江市に還元できる大学と連携し，鯖江市に貢献できる人材育成をできる街として，移住者に温かく，様々なことにチャレンジできる街として鯖江市を広くアピールすることで，その魅力をもって若者の移住・定住に将来的に繋げていくというものです。

続いてＢ班のテーマは**「河和田に住もう！！～農業と伝統文化の魅力を最大限に伝えよう～新たなベッドタウンモデルの構築」**。食文化・漆器・豊かで美しい自然など，脈々と受け継がれてきた河和田の特色は，鯖江市内・福井市内等にも職を持つ方向けにベッドタウンとして最適である，という趣旨の下，Ｉターン・Ｊターン層をターゲット層として捉え，河和田アートキャンプや清水・温泉などの魅力を加えて余すことなくアピールし，さらには兼業農家も薦めることで，若者が住みたくなる・住み続けたくなるまちづくりという課題にダイレクトに応えるというものです。

最後にＣ班のテーマは「めがねを感じる～やっぱり鯖江のめがねがNo.１～」。若者が住みたくなる・住み続けたくなる地域について，「その地域ならではの魅力がある地域」と定め，**鯖江＝めがね**という絶対的なブランド力を持ちながら，今回のヒアリングを重ねる中で，「めがねはあくまで産業」・「街中にめがねを感じない」・「めがねについてよく知らない」という事業者，移住者，住民の方々の意見から着想を得，めがねを単なる産業ではなく文化として，鯖江の誇りへと中長期的に市民の方の意識を変えていくことが若年層向けの魅力向上に繋がるのではないかというものです。

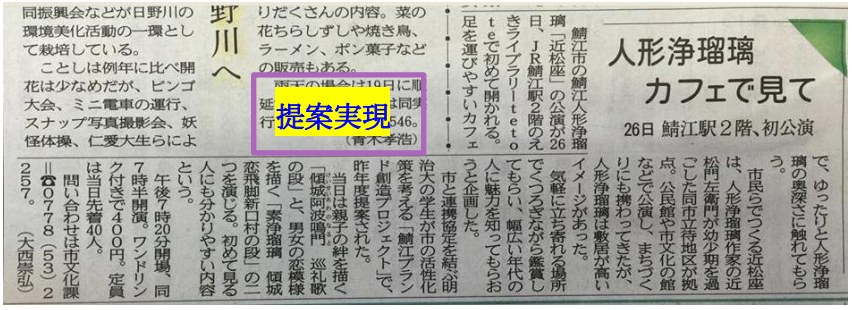
発表を終えて

会場の鯖江市役所全員協議会室には総勢５０名余が集まり，各班からの成果発表に対して，まず牧野市長から講評があり，それぞれの提言の優れた点，政策として実現できる可能性を高めるためにさらなるブラッシュアップが必要な点等，力強い激励と学生からの提言に対する感謝の言葉をいただきました。続いて鯖江商工会議所から野村会頭の講評があり，発表内容に関する数値上の補足に加え，産業とビジネスの視点において今回の提言が優れたもので活用してみたいという言葉をいただきました。続いてこの成果発表のために駆けつけてくださった明治大学校友会福井県支部池田 亘支部長から，母校の後輩からの提言内容の素晴らしさについて，何より明大生が短期間で懸命に取り組み，考え抜いて提案されたことについての感謝の言葉をいただきました。

その他，今後の最終成果報告書の取りまとめに資する講評，アンケートによるアドバイスをいただきました。

最後に，牧野市長から鯖江ブランド大使の任命式が行われ，参加学生１２名が新たに鯖江ブランド大使となり，今後も大学においてふるさと応援隊として鯖江市の魅力を発信していくことになりました。

牧野市長をはじめ鯖江市職員のみなさん，明大生につきっきりで親身に対応してくださった今宮さん，取材に快く応じてくださった皆様，温かい御支援と御協力を賜りまして，誠にありがとうございました！



人形浄瑠璃
カフェで見て
26日 鯖江駅２階、初公演

鯖江市の鯖江人形浄瑠璃「近松座」の公演が26日、JR鯖江駅2階のえきライブラリーtetoで初めて開かれる。足を運びやすいカフェで、ゆったりと人形浄瑠璃の奥深さに触れてもらう。

市民らでつくる近松座は、人形浄瑠璃作家の近松門左衛門が幼少期を過ごした同市立待地区が拠点。公民館や市文化の館などで公演し、まちづくりにも携わってきたが、人形浄瑠璃は敷居が高いイメージがあった。

気軽に立ち寄れる場所でくつろぎながら鑑賞してもらい、幅広い年代の人に魅力を知ってもらおうと企画した。

市と連携協定を結ぶ明治大の学生が市の活性化策を考える「鯖江プランド創造プロジェクト」で、昨年度提案された。

当日は親子の絆を描く「傾城阿波鳴門」巡礼歌の段」と、男女の恋模様を描く「素浄瑠璃 傾城恋飛脚新口村の段」の二つを演じる。初めて見る人にも分かりやすい内容という。

午後7時20分開場、同7時半開演。ワンドリンク付きで400円。定員は当日先着40人。

問い合わせは市文化課＝☎0778（53）2257。（大西崇弘）

野川へ

りだくさんの内容。菜の花ちらしずしや焼き鳥、ラーメン、ポン菓子などの販売もある。

雨天の場合は19日に順延。同実行委546。（青木孝浩）

提案実現

同振興会などが日野川の環境美化活動の一環として栽培している。

ことしは例年に比べ開花は少なめだが、ビンゴ大会、ミニ電車の運行、スナップ写真撮影会、妖怪体操、仁愛大生らによ

鯖江のおもひで写真館

鯖江市への学生派遣プログラム2015　行程表

現地調査　引率者：藤江昌嗣社会連携機構長・玉置雅彦地域連携推進センター副センター長
事務スタッフ

時間	行程	場所
	1日目　8月25日（月）	
8：45	集合	東京駅
9：33	東京駅発（新幹線）	
	米原駅乗り換え（特急）	
12：51	鯖江駅到着	
13：00 ～ 14：30	オリエンテーション・鯖江市長表敬訪問・市職員ヒアリング	市役所（4階会議室）
15：30 ～ 17：00	うるしの里会館見学	うるしの里会館
20：00	グループワーク	ラポーゼかわだ
	2日目　8月26日（火）	
9：00 ～ 12：00	フィールドワーク（グループ毎の行程は次頁）	鯖江市内
13：00 ～ 15：00	漆器体験	かわだ地区 山本家、塚田家、駒本家
15：30 ～ 17：30	グリーンツーリズム（桑の葉採取）	かわだ地区
18：30 ～ 20：30	市長、明治大学生、市職員、アートキャンプ学生との交流会	蔵Bar
21：00	グループワーク	ラポーゼかわだ
	3日目　8月27日（水）	
9：00 ～ 12：00	フィールドワーク（グループ毎の行程は次頁）	市役所（全員協議会室）
13：30 ～ 16：30	熟議	うるしの里会館 （産業振興交流ホール）
20：00	グループワーク	ラポーゼかわだ
	4日目　8月28日（木）	
9：00 ～ 10：30	成果発表リハーサル	市役所（全員協議会室）
10：30 ～ 12：00	成果発表準備	市役所（全員協議会室）
13：30 ～ 15：00	成果発表会	市役所（全員協議会室）
15：00	市長による鯖江ブランド大使任命式	市役所（全員協議会室）
15：45	鯖江駅発（特急）	
	米原駅乗り換え（新幹線）	
19：10	東京駅着　解散	東京駅

鯖江市への学生派遣プログラム2015　FW活動内容・訪問先一覧

A班　　BASABASA

時間	訪問先	活動内容
8月25日（火）		
9:00	東陽中学校	鯖江市のイベントに学生が参加する可能性を探るためのヒアリング。
10:00	商店街	鯖江市のイベントに労働者が参加する可能性を探るためのヒアリング。
8月26日（水）		
9:30	東陽会おしどり荘	鯖江市の住みやすさ、人の優しさについてのヒアリング。
11:00	学生団体with	学生活動拠点施設「らてんぽ」についてのヒアリング。

B班　　さばえっ子

時間	訪問先	活動内容
8月25日（火）		
9:00	東陽中学校	Uターンのきっかけを探るため、中学生への意識調査と特筆すべき部活動についてのヒアリング。
10:00	鯖江市老人クラブ連合会	ビッグデータ活用に向けての可能性を探るため、住民の娯楽や趣味志向を探る。
11:00	鯖江市OC課	福武線の主婦目線での活用可能性についてヒアリング。
8月26日（水）		
9:00	農家	漆の町としてのかわだをどう思うか、漆の伝統についてのヒアリング。
13:00	Aコープ　東鯖江店	桑の葉茶や特産品を調べ、Uターンに繋げるリソースがないかを調べる。

C班　　めがさば

時間	訪問先	活動内容
8月25日（火）		
9:00	NPOエコプラザ鯖江	地元における眼鏡への住民・市民の意識の差を探る。
10:30	Hacoa	地元における眼鏡への住民・市民の意識の差を探る。特に移住者職人へのヒアリング。
8月26日（水）		
9:00	めがね会館	めがねの流通や体験・見学についての実情、めがね協会の方針のヒアリング。
10:30	鯖江市役所	若手の方に眼鏡への愛着をヒアリング。